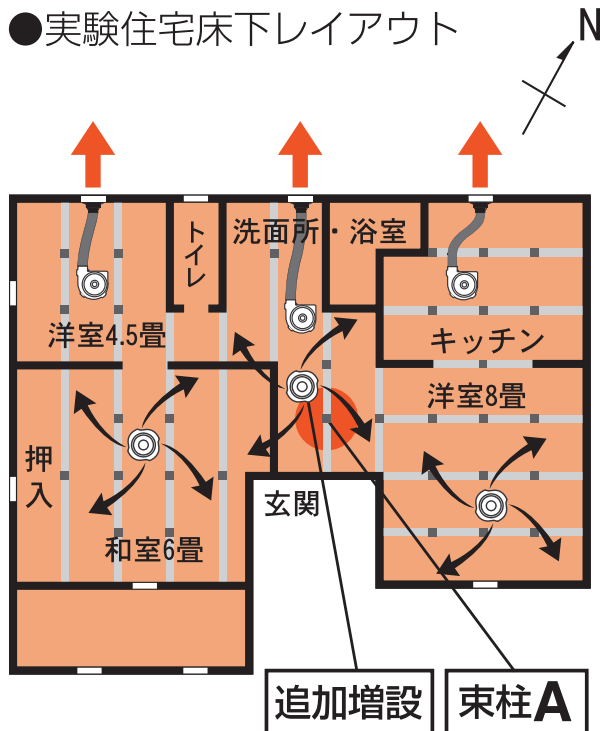


6. 既存住宅における床下換気システムの効果 異常状況での対策例(2)

●実験住宅床下レイアウト



- ブLOWER型換気システム/3台
- 攪拌型送風機/2台
- 追加設置
- オゾナイザー付き攪拌型送風機/1台

既存住宅(福岡県太宰府市長浦台立地・築28年)で床下換気システムの効果実験中、H15年7月19日の大雨によって床下浸水などの水害が発生した。水が引いた後、土壌は湿気を多く含み、写真のように「束柱A」の束石と土壌に、白カビが発生。

7月24日カビ対策の為「束柱A」近くに、オゾナイザー付き攪拌型送風機を1台追加設置し運転を開始した。

一週間後の7月31日、束石のカビが目視できなくなった。約四週間後、土壌に変化が表れはじめ、9月26日カビの繁殖は止まり、束石の周りの土壌も乾燥した。

カビ発生

H15年7月24日

追加設置

一週間後・H15年7月31日

約四週間後・H15年9月18日

カビ減少

H15年9月26日